

本部だより

●第12号



マーシャル方面遺族会



マーシャル方面遺族会クェゼリン島慰霊碑（平成16・10）

平成17年度 慰霊祭・総会・直会

平成十七年度の慰霊祭は、四月二日（土）午前十時より靖国神社本殿において厳かに挙行されました。

当日はあいにく肌寒い天気で、名物の桜も開花宣言直後とあって咲ききってはいませんでした。雨になることはなく、黒川会長以下百十五名の方々が参加されました。

午前九時からの受付を済ませて、昨年九月新築完成した新参集殿に入り、昇殿参拝前の説明を受けました。新装の参集殿は従来とは様変わりの広さと便利さを備え、心安らぐ思いでした。

午前十時、神殿でのお払いを受けた後、本殿へ向かいました。神官による拝殿供物、神主の祝詞奏上と進み、続いて黒川会長の祭文奏上の後、玉串奉奠者五名（黒川会長、鈴木裕子、腰川妙子、石渡綾子、岡野智津子会員）にならひ一同一礼二拍手一礼の作法に従って参拝。その後神官の挨拶があり、再度各自それぞれが神前に拝礼して退

下し、今年の慰霊祭は滞りなく終了致しました。

◆慰霊祭参列者芳名

今年の慰霊祭出席者は、会長以下百十五名の皆様でした。受付にてお受けした方々です。

(敬称略・順不同)

北海道 伊藤吉男 伊藤トラヨ 青森
 県 須藤明子 宮城県 小松順子 大
 井和子 福島県 富田ミツ 富田キミ
 鈴木ヨシエ 根本さとみ 茨城県 遠
 藤安男 大部美智子 神永栄子 鈴木
 やよひ 北條勝成 栃木県 菊池彦巨
 埼玉県 天野好子 井澤なを(他一名)
 原木和枝 原木大次郎 原木圭子 原
 木辰彰 原木結み菜 小野博孝 小野
 トキ子 小田原利子 西勝章夫 服部
 陽一 藤田羊一 高林芳夫 佐藤知子
 林良子 豊田静子 千葉県 岩佐とみ
 芳賀タツエ 高橋淳子 川端英夫 川

端時江 泉水堯恵 腰川妙子 菅沼健
 蔵 東京都 會田くに 荒木常子 内
 海淑子 黒川誠 黒川直吉 齋藤美美
 佐竹エス 高橋鎮夫 中村順子 間々
 田征史 間々田邦子 田島照夫 田島
 智恵子 石塚あや子 水野貞二 水野
 薫 番場信子 星野綾子 森田穰二
 山口裕子 山口良二 山田二美 山森
 久江 谷梯初江 谷真須江 西田恒子
 徳田叶子 若狭久男 草場寛 神奈川
 県 石渡綾子 能勢澄子 岩瀬三樹三
 郎 岩瀬純子 榎本益明 佐藤隆一
 佐藤章子 岡野智津子 平井貢 柳沢
 弘子 田中菊枝 杉本登美子 杉本勝
 宏 杉本智子 新潟県 山田裕史(他
 一名) 岐阜県 堀尾洋平 堀尾英夫
 (他一名) 吉田正明 京都府 東地井
 義訓 谷正文 奈良県 山中美子 愛
 媛県 渡部守 渡部信子 渡部幸典
 (他一名) 馬場清 香川県 真鍋公代
 真鍋正美 真鍋信一 石川妙子 石川
 正興 金森佳子 松原勇爾 松原敦子

◆定期総会

慰霊祭の後、靖国会館の前庭で全員の記念写真撮影し、定期総会は同館二階(田安・玉垣の間)において十二時より行われました。

●式次第

- 一、開会の辞 草場寛
- 二、会長挨拶 黒川誠

「皆さん、早朝よりご苦勞様です。幸いお天気に恵まれて、桜も咲き始め、ご一緒に参拝できまして嬉しく思います。昨年は去る十九年より数えて六十一年の節目になり、私たち遺族二十二名で十月、現地巡拝に参りました。

マーシャル諸島共和国大統領に篤志

会員の山村要さんを介してご挨拶を致しました。詳細は『本部だより十一号』でご報告した通りです。

私たちの訪れる島は米軍の基地だけにテロ対策の厳しい検査を往復共に受けました。それでも墓参を終わり、全員無事帰国できましたので本当に良かったと思えました。

平成十一年四月より前会長の後を受けて会長職に就きましてから三期務めました。その間役員諸兄をはじめ会員・会友の皆さんのご支援を受け、大過なく過ごすことができました。ここに篤く御礼申し上げます。

三、会計報告 高橋鎮夫

年間収入1,259,817円に対し、支出総額は1,332,881円と支出超過ですが、臨時支出の銅瓦奉納金三十五万円が含まれておりますので、実質は程々の収支となりました。

平成16年度会計報告書

自平成16年1月1日 至平成16年12月31日

1.一般会計収支計算

収入の部

科目	金額
前期繰越	949,933
寄付金	1,244,705
受取利息	1,502
雑収入	13,610
小計	1,259,817
合計	2,209,750

2.一般会計財産目録

平成16年12月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	31,767		
普通預金	152,541		
郵便振替	692,561		
		次期繰越	876,869
合計	876,869	合計	876,869


支出の部


科目	金額
慰霊費	782,484
広報費	319,560
通信費	70,660
事務用品費	5,605
会議費	127,056
振替手数料	17,540
公租公課	296
雑費	9,680
小計	1,332,881
次期繰越	876,869
合計	2,209,750

3.特別会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	9,000,000		
		次期繰越	9,000,000
合計	9,000,000	合計	9,000,000

※定期預金及び定額貯金として保管

会長 黒川 誠 

会計担当 晝間 樂平 

※慰霊費には靖国神社130周年記念銅瓦奉納金35万円を含みます

四、役員改選・新会長の選出

全員一致で黒川誠会長が再選。

五、再任新会長挨拶

「総会の決議に再び会長職を仰せつかりました。前回同様皆さんのご協力とご支援をお約束得られると考え、微力ではございますが務めさせて戴きます。会則によりまして役員は会長が指名することになっておりますので、発表致します。晝間さんご夫妻、高橋、高林、荒木、佐竹、山口、草場の皆さんが再任です」。

③ 全国戦没者追悼式 八月十五日

(日本武道館)

④ 東京都戦没者追悼式 八月十五日

⑤ 東京都南方地域戦没者追悼式 十月下旬(沖縄)

七、現地慰霊巡拝 高林芳夫

今年十月三日から九日を予定しています。

● 参加人員は、十名以上のこと。

● 巡拝は、クエゼリン、ルオット島。

● 旅行費用は前回と同様。

なお、五月十五日現在、三十三名の

参加申し込みがあります。

また、昨年十月現地慰霊巡拝に参加

された伊藤吉男(北海道)、大井和子

(宮城)、北條勝成(茨城)、佐藤知子

(埼玉)、林良子(埼玉)、川端英夫(千

葉)、黒川誠(東京)、谷正文(京都)、

渡部守(愛媛)、山本忠(高知)の皆さん

より報告があり、英霊への厚い思い

が語られました。聞く者には深い感銘

を与えたことでした。午後三時、全予定を終了して、散会となりました。

役員及び役割分担

会長 黒川誠(渉外)

副会長 晝間楽平(会計)

常任幹事 荒木常子(慰霊)

同 高橋鎮夫(広報)

幹事 高林芳夫(慰霊)

同 山口良二(広報)

同 佐竹エス(慰霊)

同 晝間志津子(会計)

同 草場寛(広報)

六、国内慰霊祭行事 荒木常子

◆直会(なほらい)

① 千鳥ヶ淵墓園拜礼式 五月三十日

定期総会の終了後、同室に配膳して

② マーシャル方面遺族会永代神楽祭

午後一時より直会に移りました。参加

(命日祭) 七月十五日(参集殿一時三

十分集合・二時より)

者五十名は、富田さんの乾杯の発声で、

和やかな会食、懇談となりました。

平成十六年十月三日～七日

六十年記念現地慰霊巡拝に参加して

●北條勝成（水戸市）

果てしなく

マリンブルーの続く海

亡き兄迎えに マーシャルの島

飛行機の窓から見えるマリンブルーとエメラルドグリーン的大海、この珊瑚礁の島で六十年前、激しい戦争があったとは、現実では考えられず、クエゼリンに降りた。

緑の芝生と椰子の島、南国のゴルフ場かと間違うばかりの、手入れの行き届いた米軍基地、クエゼリン島。

しかし、バスにて島内見学して、初めてここが激戦地だった事が目の前に現れた。

それは、蜂の巣みたいな砲弾の跡と

焼けただれたコンクリートの建物の残

骸、聞けば日本軍の司令所跡とか、ま

た、台座よりむしり取られた真つ赤に

錆びた五インチw高射砲、外海に面し

た半分爆破された大きなトーチカ等々、

無残な姿を見て、涙が出て来た。

次の日、私の兄が眠るルオット島に、七名だけで墓参、この島にはクエゼリンより数多くの残骸が、いたる所にあり、一部のジャングルの中にも廃墟があった。

この日本人墓地も、奇麗に手入れされておき、プルメリアの白い花が可憐に咲いていたのが、強く印象に残った。

ルオット空港待合室に、一九四四年一月三十日から二月三日までの激戦の

写真が展示されていて、見るに忍びなかった。

島内巡りの途中、島の南、ヨコハマ栈橋に続く広いビーチの砂を故郷の兄の墓に、形見として持ち帰った。

●谷正文（京都市）

やすらかに ねむれとぞおもお国のため
いのちささげし ますらおのはらから

昭和六十一年の政府主催のマーシャル慰霊団に参加しましたが、私の目指すルオット島へは行かれませんでした。

今年の遺族会の六十年目の慰霊の旅に十八年ぶりにして漸く兄の慰霊碑にお参りする事が出来ました。クエゼリンからルオットまではプロペラ機でわずか十五分の道のりでした。ルオット島の栈橋は昔のままのようで、そこから眺める海はあくまでも青く澄んだ水

に魚が静かに泳いでいました。

思えば昭和十八年十一月二十九日付けの遺書めいた手紙に「これが届く頃には南へ南へと向かっている事でしょう」と書いてありました。その船が着いたのがこの棧橋だったろうと思いい、感慨ひとしおでした。米軍が侵攻して来るわずか一カ月余り前の事のように思われます。

ルオットの慰霊碑は椰子の木や南洋の名も知らぬ木の中に立てられ、芝生を現地の人が手入れしてくれており、大変静かなよい環境の所でした。

参加者六人でお線香やお供えものをして、昔の童謡、軍歌などを歌って心ゆくまで慰霊出来ました。参加した人のある方が「兄貴！」と大声で石碑に呼びかけられた時、思わず泣けてしまいました。

この静かな所で永遠に安らかに眠られんことを祈って鳥を後にしました。

(なお、谷さんは平成十七年四月五日に

急逝されました。謹んでご冥福をお祈り致します)

はがき(通信欄)にての短信

◆久保田保子(愛媛県)

大変お寒い中、皆様には大変お世話になっております。玉碎の年から六十年の節目にあたりますが、年ごとに体力の限界を感じるようになり、残念ながら欠席いたします。この年賀ハガキは四等の切手が当たりました。幸運です。ありがとうございます。

◆千田恒子(埼玉県)

二月六日、靖国神社において昇殿参拝をして参りました。参集殿に案内された時はあまりの立派さに驚きを感じて頭が下がる思いがしました。

昭和十九年二月六日のクエゼリン玉

碎から早六十一年、年月の経つ早さをしみじみ噛みしめております。皆様のご壮健をご祈念申し上げます。欠席をお許し下さい。

◆山村一郎(神奈川県)

昨年十月、クエゼリン、ルオット慰霊の旅の報告書、懐かしく読ませていただきました。

◆廣原實(千葉県)

毎度ご連絡頂きながら欠席ばかりで恐れ入ります。会の益々の御発展を祈念し、協賛金をお送りします。皆様のご健勝をお祈りいたします。

◆相川孝夫(千葉県)

本会運営、本部だよりの発行等につきそのご苦勞に対し敬意と感謝の意を

表します。尚本年は戦後六十年、企画、実践をお尋ねします。

寄付者ご芳名

平成十七年一月一日から四月八日までの間に次の会員、会友の皆様から慰霊奉賛のため浄財をご寄付戴きました。合計金壱百十万三千五百六十円でした。厚く御礼申し上げます。今後ともご協賛をお願い申し上げます。なお、右金額には慰霊祭に都合で欠席された方の玉串料及び直会費を協賛金扱いとさせて頂きました。

記

(敬称略・順不同)

大給湛子様以下二百三十一件でした。

北海道 岩川あい 伊藤吉男 穂刈直
伊藤フジ 青森県 田中正治 塚原ハ

- | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|------|-------|--------|-------|------|
| ナ | 松橋ミツエ | 岩手県 | 小杉サヨ | 内海静枝 | 大高時男 | 加藤照 | 木下満 |
| 菅原真起 | 佐藤亨三 | 橋本ミヨ | 宮城子 | 黒川誠 | 毛塚通弘 | 小島八重子 | |
| 伊勢輝男 | 相馬ツキ | 高橋とし子 | 佐竹エス | 斎藤美美 | 清水武 | 高坂和 | |
| 新田富美子 | 松木孝子 | 佐々木賢三 | 靖 | 鈴木やよひ | 関谷シモ | 田中猛 | |
| 山形県 | 大場広弥 | 福島県 | 小野敏子 | 間々田征史 | 高橋鎮夫 | 中村順子 | 谷 |
| 鈴木ヨシエ | 富田ミツ | 古市光男 | 根 | 梯初江 | 西田恒子 | 布川慶一 | 蓮沼常 |
| 本さとみ | 茨城県 | 大部美智子 | 神永 | 子 | 長谷川智子 | 晝間楽平 | 番場信子 |
| 栄子 | 北条晃 | 堀江誠一 | 遠藤安男 | 水野貞二 | 森田穰二 | 森田尚裕 | 山田 |
| 栃木県 | 猪瀬康夫 | 菊池彦巨 | 高橋克 | 二美 | 山口裕子 | 山森久江 | 星野綾子 |
| 磨 | 吉川芳蔵 | 群馬県 | 清水宏一 | 珍 | 浜田つき子 | 草場寛 | 神奈川県 |
| 田光子 | 埼玉県 | 天野好子 | 伊沢なを | 綾子 | 岩瀬三樹三郎 | 岩田とし子 | 上 |
| 宇田川ひさ | 小田原利子 | 小野博孝 | 田文子 | 榎本益明 | 大石純一 | 岡野智 | |
| 片桐覚治 | 北原ひで | 近藤マスエ | 鈴 | 津子 | 金子武晴 | 川名茂子 | 熊沢静子 |
| 木裕子 | 高林芳夫 | 千田恒子 | 佐藤知 | 栗田千代子 | 佐藤登志 | 渋谷良男 | 田 |
| 子 | 西勝章夫 | 橋本強 | 服部陽一 | 富 | 中菊枝 | 服部純昌 | 平松菊枝 |
| 川艶子 | 千葉県 | 相川孝夫 | 石川きみ | 代子 | 平井貢 | 森井静子 | 安威孝司 |
| 泉水堯恵 | 腰川妙子 | 高山満喜男 | 津 | 柳沢弘子 | 山村一郎 | 新潟県 | 石丸進 |
| 久井艶子 | 芳賀タツエ | 廣原実 | 谷沢 | 山田キヨエ | 高橋梅子 | 近藤茂 | 富山 |
| 英子 | 菅沼昇 | 宮本博 | 川端英夫 | 石 | 池田淑子 | 金山深雪 | 小林照子 |
| 井健蔵 | 豊谷美恵子 | 宮崎實 | 東京都 | 棚橋昭二 | 廣上敏夫 | 広島富子 | 村梶 |
| 會田くに | 荒木常子 | 飯島富美子 | 飯 | 光荣 | 石川県 | 林秀光 | 森芳子 |
| 島祐宣 | 石川勲 | 石谷典夫 | 岩浪邦江 | 一雄 | 吉光澄子 | 木村久子 | 永井武弘 |



平成17年度慰霊祭参加者集合写真 (平成17・4)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 貞子 佐賀県 金子茂 金子庄之助 八七 | 平田郁子 秦サカエ 村上清隆 吉松 八四 ●振替・〇〇一〇〇・〇・九三四 | 章 福岡県 萩野千代子 下釜正義 二・ファックス〇三・三七八三・八三 | 一政 柳村摩耶子 山本忠 山本誠 十七・電話〇三・三七八三・八三八 | 泰子 馬場清 和泉富久 高知県 原 二〇〇五一東京都品川区平塚三・四・ | 伊藤梅子 長岡俊夫 渡部守 久保田 ●マーシャル方面遺族会本部・〒一四 | 榊崎馨 香川県 石川正興 愛媛県 平成十七年八月一日 ●発行人・黒川誠 | 瀬戸隆子 藤本正 山口県 吉永峯生 ●環礁・本部だより第12号 ●発行日・ | 浦手ハル 奥井礼子 佐々木千鶴子 奥付 | 島根県 伊勢忠夫 広島県 植田敏裕 | 栄子 鳥取県 井上照美 中浜ヒメコ | 山中美子 奥田義寛 和歌山県 福井 | 兵庫県 枝光剛郎 山形雅俊 奈良県 太平 山口正雄 豊谷秀光 | 美津治 大阪府 馬場富子 大串静代 久保末喜 吉良正義 兵藤義彦 堀口 | 川本彦次 谷正文 東地井義訓 吉見 友 稲毛三郎 江藤圭一 尾上一郎 | みね子 川越コウ 浜田芳枝 京都府 ヨネ 東キク 沖繩県 宮城幸子 会 | 服部くにゑ 愛知県 安藤昌子 岡島 フサエ 鹿児島県 揚野サツエ 野平 | 雄 後藤幸雄 野崎昭二 三浦久雄 子 大分県 木村二三夫 宮崎県 森 | 鳥本和子 静岡県 大畑幸夫 木野正 ヨシ子 土田利子 右山定 村上佳寿 | 勤子 岐阜県 堀尾洋平 吉田正明 植川二男 片山玲子 鬼海富夫 塚野 | 長野県 油井芳枝 織部はつえ 宮下 ギエ 前田フサ 山下タエ 熊本県 | 福井県 塚田民子 山梨県 黒川正文 長崎県 板浦重雄 長谷土松 中野フ |
|---------------------|--------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|